



証券コード：9433

# 第27期 上半期報告書

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

KDDI 株式会社

Ubiquitous-Solution Company





代表取締役社長兼会長  
小野寺 正

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

当社は本年10月1日に、第二電電株式会社、KDD株式会社、日本移动通信株式会社の3社合併から10周年という大きな節目を迎えました。これもひとえに株主の皆様のご理解とご支援の賜物であり、深く御礼申し上げます。

さて、第27期上半期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の事業内容等をご報告するにあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

当上半期の経済の状況は、新興国の順調な回復などにより緩やかな回復を見せていた世界経済が、ギリシャに端を発する信用不安の影響が広範に渡り、またその根も深いことから、更なる景気の減速が懸念されております。

わが国においても、急激な円高や株安に加え、消費刺激策による成長押し上げ効果の剥落や駆け込み需要の反動減から、回復基調にあった国内景気の先行きに懸念が強まっております。

電気通信業界では、移动通信市場において、低廉な料金サービスの提供、スマートフォンを含む多種・多様な携帯電話端末、音楽・映像・電子書籍等のコンテンツサービスの提供等を通じ、お客様獲得に向けた競争が一段と激しさを増しております。

また、固定通信市場においては、FTTHサービスを中心としたブロードバンドサービス等の展開に加え、固定通信と移动通信、あるいは通信と放送の融合が進展しつつあり、サービス競争が新たな局面を迎えております。

このように、通信市場の構造自体が大きな変換期を迎える中、KDDIグループといたしましては、市場の変化を先取りした自らの変革こそが、新たな価値を創造し、より一層皆様のご期待にお応えすることに他ならないと確信し、企業価値の向上及びブランド力強化に果敢にチャレンジしてまいります。なお、近時、スマートフォンの出遅れが指摘されておりますが、今秋以降、auらしさを前面に打ち出したスマートフォンの発売により、市場での巻き返しを図る所存でございます。

なお、本年12月1日をもって、代表取締役社長を交代する運びとなりました。すでにご高承のこととは存じますが、あらためてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。